

本学と札幌市立9高校が包括協定

本学と札幌市立の全9高校（札幌旭丘、札幌星園、札幌大通、札幌新川、札幌開成、札幌平岸、札幌清田、札幌啓北商業、札幌藻岩）は、高大連携に関する包括的協定を締結しました。

協定調印式は3月16日（月）に本学で行われ、谷山弘行学長と北海道札幌市立高等学校校長会の武田克伸会長（札幌清田高等学校校長）が協定書に調印、固い握手を交わしました。

この連携協定には、

（1）互いの教育活動に対する支援、（2）共同研究の実施、（3）既存施設・設備の利用等が含まれています。本学はかねてから、札幌開成高が開講する「先端科学特論」に教員等を派遣し、先端科学についての情報提供を行っています。この協定調印を契機として、他の札幌市立高等学校への拡大充実を計ります。また、本学が実施する授業に、札幌市立高校生を高大連携受講生として受け入れ、所定の成績を修得した受講生には修了証を交付する予定です。

谷山学長は「お互いの立場を理解し、相互協力で新しいものを作っていきたい」と述べ、武田会長も「酪農学園大学は生命と環境の研究において、トップにいる大学だと思う。高校の生徒たちにも、知識を得る楽しさを教えてほしい。また、教員同士でも交流する機会を持ちたい」と期待を述べました。